

葛飾区議会議員

うてな 英明

区政レポート

2022年 春号

ひであき

【発行元】
かつしか区民連合
〒124-8555 葛飾区立石5-13-1
葛飾区議会棟内

政党は「無所属」、
会派は「かつしか区民連合」で
活動中。



日々の活動は
Facebookをご覧ください

令和4年第1回定例会

区政一般質問に登壇

1『新型コロナウイルスワクチン接種』について

質問1 打ちたいと希望する方への早期3回目の接種にあたり、接種体制・ワクチンの確保について、葛飾区医師会や国・東京都とのやり取りを加速化させ、推進していくべき

回答 医師会と連携し、安定した接種体制を整備するとともに、国や東京都に対してワクチンの安定的確保に向けた協議を継続することで、接種を希望する方が早期に接種できるよう取り組んでいく

質問3 接種に関しては任意接種であり、接種しない方への対応と偏見をなくす啓発について、しっかりと行っていくべき

回答 ワクチン接種はあくまでも任意であり、個々の事情で接種できない方がいることなどを関係部署と連携し周知していく

質問5 今後、4回目のワクチン接種が行われる可能性も否定できない。どのような準備を行い、これまでの経験をどのように活かしていくのか

回答 今回の新型コロナワクチン接種の実施方法を基礎としながら、これまでの課題の洗い出しを行い、いつ・どのように接種が開始されても滞りなく実施できるよう、これまで蓄積されたノウハウを生かし、今後の予防接種体制の構築に取り組んでいく

質問2 モデルナ製ワクチンとファイザー製ワクチンの集団・個別それぞれの接種体制の状況と今後におけるモデルナワクチン接種体制改善の工夫・検討をすべき

回答 主な接種対象者がこれまでの高齢者から一般に移っていく中、対象者に合わせた予約方法を検討する。今後も、ワクチン接種の推進に向けて、利便性の向上、接種機会の拡大を図る

質問4 判断をする材料が多ければ多いほど、区民の不安を少しでも取り除くことができる。区民の不安に寄り添い、その払しょくのために様々な工夫と支援をするべき

回答 ワクチン接種を取り巻く環境は日々変化しているため、今後の国や東京都の動向を注視し、区民が安心して接種できるよう状況に応じて取り組んでいく

2『医療的ケア児』について

質問1 医療的ケア児支援法が施行され、区としてどういう体制で取り組んでいこうと考えているのか。担当部署をしっかりと定め、どこがリードしていくのかを決めた上で、横串を刺しながら、区民本位で進めていくべき

回答 令和4年度からは障害者施策推進協議会を医療的ケア児の協議の場とするともに、協議会に専門部会を設け、相談窓口のあり方や医療的ケア児の受け入れ等について具体的な検討を行う。区の各部署が連携し、医療的ケアが必要な児童や家庭の状況に即した支援を行っていく

質問2 子ども未来プラザをはじめ公立保育園で受け入れられるように、将来を見据えて検討していくべき

回答 令和3年度に保育園職員を中心に医療的ケア児に対する集団保育の在り方を検討するプロジェクトチームを立ち上げた。公私の役割分担のもと、保育の必要な子どもがお住まいの地域で保育を受けることができる体制づくりを進めていく

3『教育におけるICT活用』について

質問1 在宅でオンラインによる授業を受けることが出席扱いとなる議論・検討を今後に向けてすべき

回答 オンライン授業は、学習評価や配信方法、集団指導、個別指導など、今後、様々な研究や実践を進め、『その上で』出席扱いについても検討が必要だと考える。国や東京都の動向を注視するとともに、引き続き学校の状況を把握し、必要に応じて議論・検討していく

質問3 今後のより良い教育のあり方を見据え、校務系データと学習系データの連携が必要であり、先を見据えた検討を行っていくべき

回答 公務系・学習系のデータ連携は国においても専門家会議での検討が進められている。今後の国の動向を注視しながら検討を進めていく

質問2 データの引継ぎによる小1問題・中1ギャップなどの課題の緩和を模索すべき

回答 子ども達の最適な支援を図る学習履歴等の各種データについては、区にもデータの利活用やルールを検討を始めたところ。国の動向も注視しながら、子ども達一人一人に寄り添った更なる指導の充実に向けて検討を進めていく

質問4 1人1台端末を実現したが、端末のスペックや数年後に一斉にやってくる更新の扱いなど、子ども達の学びを止めることが無いよう、先に検討しておくべき

回答 端末の更新は「子ども達の学びを止めない」ことを前提に、現在の環境を向上させ「かつしかのGIGAスクール」を安定的に継続できるよう、国の動向等も踏まえ、常に情報収集や研究を行い、適切に対応できるよう準備をする

質問5 情報モラル教育だけでなくデジタル社会でのICTの活かし方を学ぶ「デジタル・シティズンシップ教育」の実施を行うべき

回答 「自らが責任をもってデジタル社会の中で適切に行動し、ICT技術を有効に活用していく」というデジタル・シティズンシップの視점에立った指導をしていくことは大変重要だと考える。今後、学校教育の中でのICTの積極的な活用と教員向け研修の充実により、子ども達がデジタル社会でより有効にICTを活用する力が身に付けられるよう、取り組んでいく



4『堀切菖蒲園駅周辺のまちづくり』について

質問1 京成本線荒川橋梁架替事業の早期実現のために一層の推進と、完成までの期間において様々な工夫を行う必要がある。新技術・新製品などにアンテナを立て、検討を行っていくべき

回答 橋梁部の水防活動の方法も架替工事の進捗に合わせ、適宜見直していく必要があると考える。話にあった新技術や新製品の研究・検討は重要な視点であり、荒川下流河川事務所や京成電鉄と連携し、現場状況の変化に適した止水対策に努めていく

提案してきたことが実現

切っ掛け 平成30年第3回定例会において神戸市が設置している川の増水監視カメラを市民が閲覧できることを例示して葛飾区でも取り組みを求める

転機 令和元年台風19号を受けて、令和元年第4回定例会において、河川監視カメラの増設を求める

実現 令和3年度一般会計補正予算（第6号）で設置費用が計上される

それを受けて設置後のことについて質問を行う

質問4 まちづくり推進協議会について、いろいろな方々に参加をしていただき、より多くの方にアイデアを出していただくべき

回答 今後の協議活動については、荒川橋梁架替事業や川の手通りの歩道勾配改善などの様々な事業を推進するため、自治会・商店会と区との情報共有・意見交換の場を新たに設ける予定。引き続き、まちづくり推進協議会と協働で堀切地区まちづくり構想の実現に向けた取組を推進していく

質問6 （仮称）子ども未来プラザ小菅が旧小谷野小学校敷地内に入るのであれば、小谷野しょうぶ保育園はどうするのか。移転までに時間が経ってしまうという懸念がある中で、子ども達の保育環境を踏まえ、様々な検討をしていくべき

回答 旧小谷野小学校で公設民営園として運営している小谷野しょうぶ保育園は、当初の計画通り、時代のニーズに合わせて柔軟にサービスを提供できる民設民営園として、現在の小菅保育園の園舎に移転する予定。移転をする際には、事業者とより丁寧に打ち合わせを行い、必要な支援があれば検討していく。なお、園庭については、近隣の公園等を活用するなど運営上の工夫が必要と考えており、この点についても運営事業者と具体的な協議を行う

質問2 いざという時に止水板やタイガーダムの水囊など、迅速に対応ができるよう訓練を行い、スキルの向上につなげてくために、水防訓練などの機を捉えて取り組むべき

回答 合同水防訓練はもちろんのこと、京成線荒川橋梁部に特化した大型土嚢や止水板の設置訓練を繰り返す行うとともに、荒川下流河川事務所、京成電鉄はじめ、消防署等の地元関係機関とも連携を図り、いざ台風の被害が想定される際には、慌てることなく的確な対応ができるよう、万全の体制を整えていく

質問3 河川監視カメラの活用方法の周知徹底や、想定される水害時の回線混雑やサーバー対応など、様々な工夫を今後もしていくべき

回答 活用方法の周知については、区公式ホームページ、広報かつしか、区公式SNSなどの広報媒体や、水害ハザードマップ説明会、出前講座でも、活用方法の紹介をしていく。整備を進めているカメラシステムは静止画像を5分ごとに撮影するものであり、伝送の負荷も軽く、回線混雑にあっても影響を受ける可能性は低いものとする。河川監視カメラの整備によって、災害対策本部の情報収集機能の強化と区民が自ら情報収集できる環境を整備していくことで、水害に強い安全・安心なまちづくりを今後とも推進していく

質問5 駅北側の都道沿いの水路敷について、進捗がどうなっているのか、また、現状、商売をされている方々がいる中で、様々な配慮をしながら、できる限り早期に解決に向けて取り組んでいくべき

回答 水路敷には18棟の建物があり、現在は4棟の調査を実施している。今後、この調査が完了した建物から順次、建物を移転していただくための折衝を進めていく予定。引き続き、営業中の店舗にも配慮しながら積極的に折衝を重ね、着実に歩行環境の改善に取り組んでいく

新しい議論も行い、その上で必要な機能を盛り込んでいくべき

質問7 今後の旧小谷野小学校のあり方については、地域特性に鑑みて、災害拠点施設や保健センター機能の一部など、様々な機能の検討も一緒に深めていくべき。また、地域から要望が多い地区図書館の設置や、今後の水泳指導における区の北西部での施設不足や、こやのエンジョイくらぶでの活用等も見据えた屋内温水プールの議論なども、新たに検討の俎上に上げていくべき

回答 引き続き検討を進めていくが、その際には、様々な地域課題を踏まえ、地域の方々や利用団体への説明を丁寧にしつつ、これまでの経緯や地域特性、行政需要等に合致した整備ができるよう努める

うてな英明 活動記録



2021年10月1日
シンフォニーヒルズのリニューアル工事を視察



2021年10月2日
消費生活展に参加



2021年10月4日
令和4年度予算要望を提出



2021年10月3日
東京都原爆犠牲者追悼のついでに出発



2021年10月16日
産業フェア 工業・商業・観光展に参加



2021年10月23日
産業フェア 農業・伝統産業展に参加



2021年11月13日
「カナマチふらっと」を視察



2021年10月3日
東京都原爆犠牲者追悼のついでに出発



2021年12月26日
歳末警戒に参加



2022年1月4日
新年賀詞交歓会に出席



2022年1月21日
自動運転・MaaSエキスポを視察



2022年1月22日
生活介護および特定相談支援事業所「アレス秋桜」を視察



2022年2月3日
町工場見本市を視察



2022年2月25日
鎌倉公園のリニューアル工事を視察



2022年2月26日
「ふれあいサロンあきみつ」を視察

プロフィール

学歴

- ・昭和53年（1978年）5月生まれ
- ・葛飾区立南綾瀬小学校卒業
- ・渋谷教育学園幕張中学校卒業
- ・渋谷教育学園幕張高等学校卒業
- ・成城大学法学部法律学科卒業

職歴

- ・株式会社 ぎょうせい（出版社）入社 教育図書担当に配属
- ・株式会社 日本教育新聞社に転職 教育の専門新聞社で勤務
- ・衆議院議員・武正公一秘書を経て
- ・2009年11月 葛飾区議会議員選挙に初当選
- ・2013年11月 葛飾区議会議員選挙において次々点で落選
- ・2017年11月 葛飾区議会議員選挙に二期目当選
- ・2021年11月 葛飾区議会議員選挙に三期目当選

- 現在、保健福祉委員会・都市基盤整備特別委員会・空家対策特別協議会などに所属
- 家族：妻・息子

うてな英明 事務所

ブログ・フェイスブックで
活動報告更新中!!!

うてな英明 |

検索

連絡先
〒124-0006 葛飾区堀切5-48-5
e-mail info@hideaki-utena.com
HP http://hideaki-utena.com
TEL&FAX
03-3690-8320

